

開催目的

将来の中部圏における建設産業の担い手である若手技術者等の確保・育成の一環として、若い世代の技術者等が交流を深め、また建設業の魅力を伝える場を提供することで、人的なネットワーク形成、職業観・就労意識の形成・向上につなげ、業界の継続的な発展に寄与することを目的とする。

(主催：中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会)

第8回 建設若者塾 開催状況

開催日：令和5年9月6日（水）

場所：中部技術事務所

実施概要：VR映像による現場の疑似体験、建設機械の遠隔操作などを通じ、インフラ分野におけるDXを体感するとともに、グループ別に災害対策車両操作訓練、グループワークを行い、参加者の交流を深める。

参加者：愛知・岐阜・静岡・三重県内の建設企業で働く、10代から20代の若手技術者16名

アンケート結果：参加者全員が「満足」「やや満足」と回答（普段体験できないことが体験できた、最新技術が学べた、別会社社員との交流機会はあまりないのでいい経験になった等）



無人バックホウの遠隔操作体験



照明車・排水ポンプ車操作も全員が体験



グループワークで交流を深める